まちの話題

豊岡

市民プラザアートスクール「能の表現」
声と身体とイメージで 能楽師気分

10月16日、豊岡市民プラザで、アートスクール第10回講座「能の表現」を開講しました。

講師には、能楽師の田茂井廣道さんを迎え、約6百年続く能の歴史、兄弟分の狂言との違い、観るコツなどを学んだ後、独特の所作（立ち居振る舞い）、謡なども体験しました。能面を付けて歩くと足元は全く見えず、遠くも近くに感じられ、参加者はこわごわ動いていました。また、間近で見る豪華な衣装には、ため息が漏れていました。

最後は、本市に伝わる「田道間守の歌」を謡曲にアレンジしていただき、みんなで謡い、しばし古代ロマンの世界に浸りました。

▲高級車1台が買える衣装は、重量もずっしり。歩くだけでも難しい

城崎

重陽の節句～秋の演奏会～
時を忘れ、秋を感じる 至福のひとときを

10月27日、「重陽の節句～秋の演奏会～」（城崎温泉観光協会主催）が城崎文芸館（城崎町湯島）で、開催されました。

会場では、津軽三味線やバンジョー（アメリカのはつ弦楽器）、ペルーやアイルランドなどの珍しい管楽器の演奏が行われ、映画「タイタニック」のテーマ曲など、耳慣れた曲目が次々に奏でられると、来場者らはうなずきながら、終始、聞き入っていました。

この演奏会を訪れた澤田敦子さん（城崎町湯島）は「世界をイメージしながら、国々を旅しているような感じだった。ゆったりした、いい気分になれた」と話していました。

▲菊茶のおもてなしを受けながら演奏を楽しむ来場者ら

竹野

第6回海そうじプロジェクト ～みんなで海のごみ拾い～
「海をきれいに！」を合言葉に

10月17日、竹野浜で「第6回海そうじプロジェクト～みんなで海のごみ拾い～」（NPO法人たじま海の学校主催）が開催されました。

このイベントは、平成16年の台風23号のときに、海岸清掃を行ったことをきっかけに年1回行われており、今回で6回目になります。

当日は190人の参加があり、41人のダイバーらは海中ごみを、釣り人や一般の方は浜辺のごみを回収していました。

参加した田中恭子さん（竹野中3年）は「海がきれいになって良かった」と、また、奥本萌さん（竹野中3年）は「大変だったけど、楽しかった」と話していました。

▲堤防のごみを拾う参加者ら

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

ひょうご森のまつり2010

木くずを散らし プロの大迫力の丸太切り!!

11月13日と14日の2日間、「環境と経済が共鳴する森づくり」をテーマに、「ひょうご森のまつり2010」が県立但馬ドーム周辺で開催され、多くの来場者でにぎわいました。

このまつりは、森に親しみ、森を育てる大切さを体験・実践する機会として平成20年度から県内各地で開催されています。

当日は、大迫力のチェーンソーアートや、神鍋山ウォーキング、木工クラフト体験、森づくりに関する展示などが行われました。

13日にステージで行われたプロの丸太切り大会では、のこぎりを引く勢いとスピードに、観客らは終始、圧倒されていました。

▲3人1組で、丸太をリレー形式で3本切り落とす時間を競う。優勝は3分22秒。圧巻！

出石

第40回出石お城まつり

高校生が御徒士・腰元姿で参列!!

11月3日、出石城跡周辺で、恒例のお城まつりが開催されました。町内小・中学校の音楽隊パレードをはじめ、よさこい踊りや出石太鼓「炎」などの演奏が特設ステージを盛り上げました。さらに、40回記念の今年は、出石高等学校の男女生徒30人が、御徒士(侍)や腰元(侍女)に扮し、「大人大名行列槍振り」に特別出演し、観光客らの目を引いていました。

また、「永楽館大歌舞伎」公演に先立ち、出演俳優が「お練り」を行い、その後のステージあいさつでは舞台への熱意を語りました。

江戸の風景を醸し出す街並みは、いつにも増して多くの来場者でにぎわいました。

▲出石高校生徒が「大人大名行列槍振り」に特別出演

但東

安国寺のドウダンツツジの紅葉

しばし時を忘れる 深紅のドウダンツツジ

11月11日、但東町相田の安国寺のドウダンツツジが紅葉の見ごろを迎え、多くの観光客が訪れました。このドウダンツツジは、明治37年に本堂が再建されたときに裏庭に植えられたもので、樹齢約150年といわれ、高さ・幅共に約10メートルあります。

本堂から裏庭を眺めると、ドウダンツツジが鮮やかな深紅に染まり、まるで絵画のような景色が、観光客のため息を誘っていました。

この日は、市のマスコットの玄さんが、ライトアップされたドウダンツツジの見学に初めて訪れ、「見事なもんじゃのう」と、幻想的な雰囲気に終始ご満悦でした。

▲本堂まで深紅に染めるドウダンツツジ絵巻にご満悦の玄さん